

●今月の主な動き

今月の主な動き ●

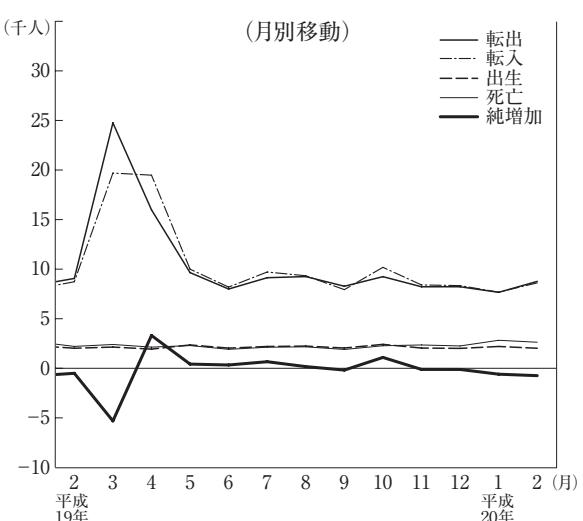
今月の主な動き

■人口 (20年3月1日現在)

2月の概況

推計人口 2,970,259人 (対前月 \triangle 752人)
 (男 1,477,246人, 女 1,493,013人)
 〈内訳〉 自然動態 \triangle 602人
 (出生 1,993人 死亡 2,595人)
 社会動態 \triangle 150人
 (転入 8,542人, 転出 8,692人)
世帯数 1,064,488世帯 (対前月 487世帯)

人 口

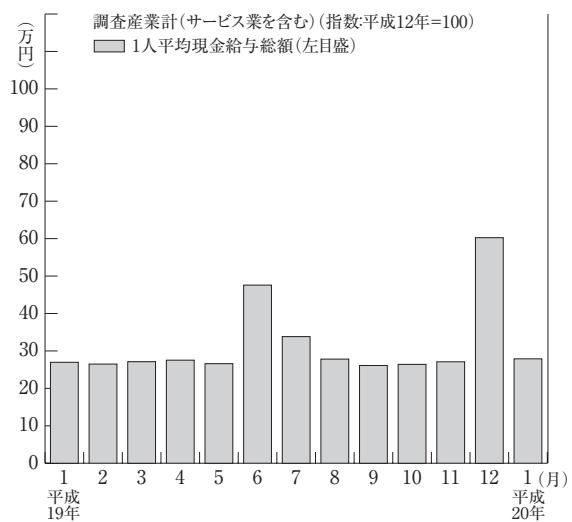


■賃金・労働時間・雇用 (20年1月)

現金給与総額 278,923円 (3.4%)
 きまって支給する給与 263,363円 (1.7%)
 特別に支払われた給与 15,560円

総実労働時間 138.3時間 (\triangle 2.6%)
 所定内労働時間 127.5時間 (\triangle 2.6%)
 所定外労働時間 10.8時間 (\triangle 2.7%)
 ※ 事業所規模5人以上、() 内は前年同月比。

賃金・労働時間・雇用

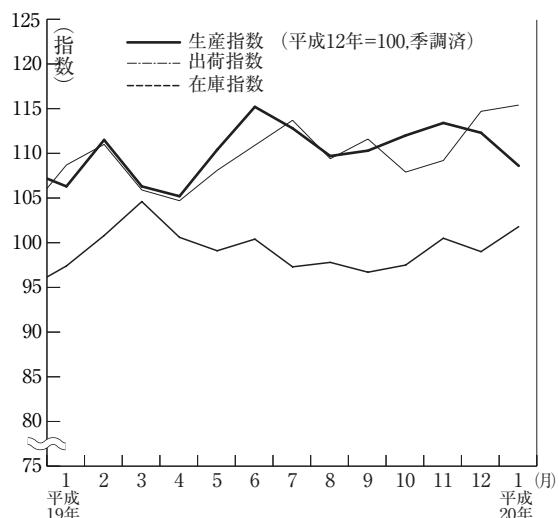


■鉱工業指数 (20年1月) (季調済, H12年=100)

生産 108.6 (前月比 \triangle 3.3%, 前年同月比 1.6%)
 上昇…食料品・たばこ工業, 精密機械工業等
 低下…電気機械工業, 化学工業, 一般機械工業等

 出荷 115.4 (前月比 0.6%, 前年同月比 4.6%)
 上昇…一般機械工業, 食料品・たばこ工業, 精密機械工業等
 低下…電気機械工業, 化学工業等

鉱工業指数〈生産・出荷・在庫〉



在庫 101.8 (前月比 2.8%, 前年同月比 5.3%)

上昇…食料品・たばこ工業, 電気機械工業, 電子部品・デバイス工業等
 低下…鉄鋼業, 窯業・土石製品工業等

●今月の主な動き

今月の主な動き ●

■消費者物価指数（20年2月）（県平均、H17=100）

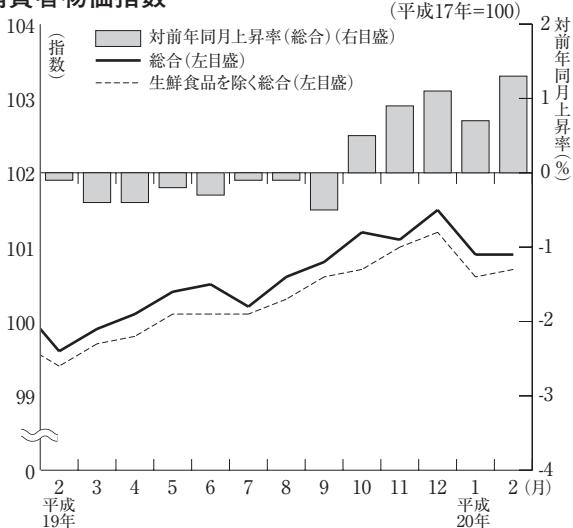
総合 100.9（前月比0.0%，前年同月比1.3%）

上昇した項目…衣料、穀類

下落した項目…生鮮魚介、自動車等関係費

生鮮食品を除く総合 100.7（前月比 0.1%，前年同月比 1.3%）

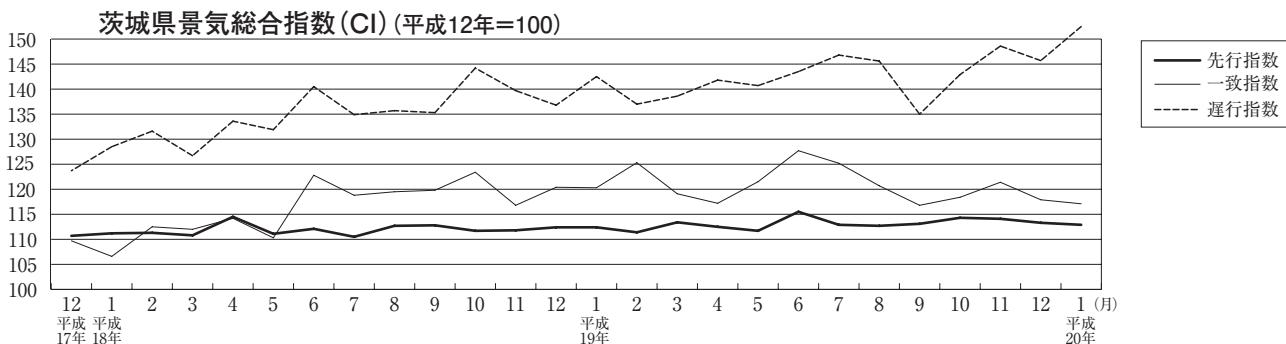
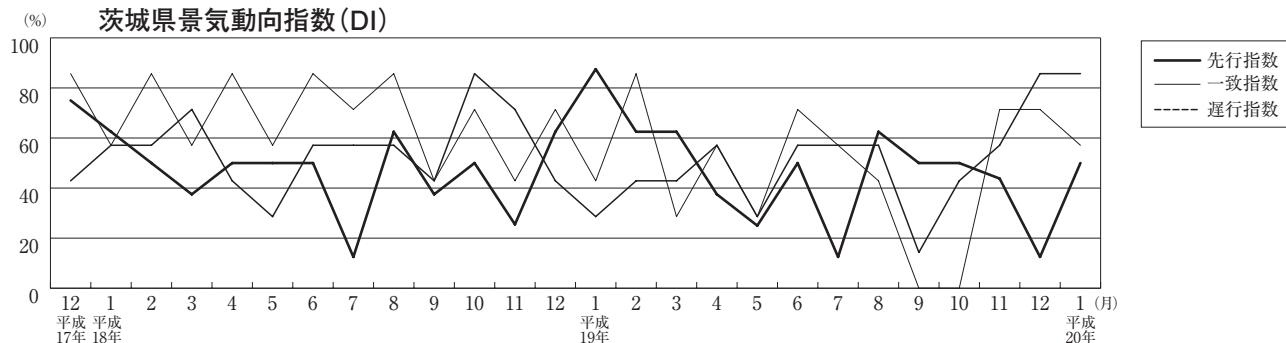
消費者物価指数



■費目別指標

区分	指数	上昇率(%)		区分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総合	100.9	0.0	1.3	保健医療	103.2	0.0	0.6
食料	102.0	△0.3	1.3	交通・通信	101.6	△0.5	3.3
住居	100.0	0.0	0.5	教養	101.5	0.0	0.5
光熱・水道	108.3	0.1	4.0	教養娯楽	96.0	0.1	△0.3
家具・家事用品	94.0	△0.2	△3.8	諸雑費	101.7	△0.1	0.8
被服及び履物	100.1	1.7	4.5	生鮮食品を除く総合	100.7	0.1	1.3

■景気動向・総合指標 (20年1月)



《景気動向指標 (DI)》

先行指数 50.0% (確報値)

一致指数 57.1% (確報値)

運行指数 85.7% (確報値)

1月の景気動向指標の一致指標は、3か月連続で50.0%を上回った。

これは、「有効求人倍率」が9か月連続マイナス、「鉱工業生産指数」及び「機械工業生産指数」がマイナスに転じたものの、「百貨店販売額」、「投資財出荷指標」及び「茨城県管内輸入額」が3か月連続プラス、「大口電力使用量」がプラスに転じ、7系列中4系列がプラスとなったためである。

一方、経済部門別にみると、生産出荷関連の指標は、採用している4指標のうち3指標（「建設財生産指数」、「鉱工業生産指数」及び「機械工業生産指数」）がマイナス、投資関連の指標は、採用している3指標のうち2指標（「建築物着工床面積」及び「投資財出荷指標」）がプラスとなった。消費関連の指標は、採用している3指標すべて（「自動車新規登録台数」、「百貨店販売額」及び「勤労者世帯消費支出」）がプラスとなった。

《景気総合指標 (CI)》 (H12=100)

先行指数 112.9 (確報値) 対前年同月比 0.3%

一致指数 117.1 (確報値) 対前年同月比 △3.2%

運行指数 152.5 (確報値) 対前年同月比 9.8%